

ハワイ島でのリゾート開発に関する請願のお願い

こんにちは。ぜひお知らせしたいことがあります。少しお時間をとって、お読みいただければ幸いです。現在、ハワイ島ではJALが出資するゴルフリゾート開発で、地元先住民族の先祖のお墓が掘り返されるという事態が発生しています。また、この工事のために世界有数の美しい湾を汚染するといった環境破壊も進んでいます。

これをやめさせるためには、JALの最大ユーザーである日本人の声を届けるのが大変効果的です。ぜひ、みなさんの声をあげてください。下記住所へ2通、請願文を送ってください。できればみなさん自身の言葉で書いていただけると嬉しいです。

文面作成の時間がない方のために、右に文例をご用意しました。コピーして冒頭に宛名を、末尾に日付と貴方の署名を入れれば使えるようになっています。郵送による集約の可能な者が居りませんので、お手数ですが、取りまとめのできる方は個別に連名でお送りいただきますようお願いいたします。

〒140-8637 東京都品川区東品川2-4-11 株式会社日本航空
代表取締役社長 兼子 勲 様
および同住所で 関連事業室部長 塚原 雄二 様

インターネットをお使いになれる方へ

1) 件名もしくは本文冒頭に「賛同」と書いて、以下のアドレスまでお名前とご住所をお送りくださった方に関しては、右記の請願文を連名でJALに送ります。賛同発信アドレス以外のアドレスで当方からの報告を受信したい方、報告を受信したくない方はその旨もお書きください。jalpetition@excite.co.jpでの集約は、とりあえず5月末日を二次の締切としますが、その後もある程度まとまり次第お送りしますので、周りの方にもどうぞお伝えください。

2) メールで請願文を送られる方は、JALには公開メールアドレスが無いようなので(どなたかご存知だったら教えてください) 下記へお願いいたします。

yuji.tsukahara@jal.co.jp (関連事業室部長 塚原雄二 氏)

webmaster@jal.co.jp (JALのホームページ管理人)

以上2つのアドレスを to で同報し、

bcc で jalpetition@excite.co.jp をご指定ください。

なお、この件について詳しい資料をホームページ <http://www.jca.apc.org/arco/jal/> にアップしました。ぜひご一読下さい。今回の件では、大きな集団としてやりとりするよりも数多くの個人が注目していることを印象付ける方が有効だと思います。ぜひ、ひとりひとりが声をあげてください。周りの方にもお知らせいただければ幸いです。

請願書 (ver. 2 / 2001.5.1)

株式会社日本航空

様

拝啓 先日は、ハワイ島サウスコナのホクリア開発の件に関する請願書にご回答下さりまして、ありがとうございました。すでに内外のメディアで大きく報道されているように、自然環境と先住民の遺跡に大きな損害が出てしまったことを、貴社がお認めになり、申し訳ないというお気持ちを表明して下さったことは、感謝いたしたいと思います。

けれど、残念ながら、貴社の現状認識と現地の状況には、大きな差異があるようです。

ホクリア開発では工事の一部中止命令が出ておりますが、貴社は「工事の一部中止命令は、弊社の孫会社がライルアンダーソン社と共同で設立した会社（1250 オーシャンサイド）に対して出されたもの」とおっしゃっています。けれど、その孫会社は100% JAL 資本の現地法人で、役員は全員 JAL 本社の役員ですし、貴社は「オーシャンサイド」の最大出資者です。ですから、工事停止命令は、実質上は貴社に対して出されたともいえないでしょうか。

「オーシャンサイド」は、工事に当たって地元住民の先祖の墓やその遺骨を破壊しています。また、「除草剤を使わない」という事前の約束も破り、州政府の調査によれば、強力な除草剤が海から検出されています。さらにハワイ州水資源課の公式調査によれば、昨年9月と11月には、工事で搬入された土砂が世界で最も美しい海域に流出し、珊瑚礁を埋めて窒息させ、海洋生態系にダメージを与えています。これは米国法「クリーン・ウォーター・アクト」にも抵触しますし、漁業を営むハワイ人たちの生活を逼迫しています。

土砂流出に関して、貴社は「数十年来に一度という規模の台風に襲われたため」と主張されていますが、国立気象サービスの雨量計データによれば、土砂流出が起きた当日の雨量はその地域では決して大雨とされるものではないので、原因を自然災害に帰することはできません。しかも、9月の土壌流出後「行政に相談し、必要な補完工事を行った」はずが、再び11月の雨で同様な土壌流出を起しているのです。

また、貴社は「1992年以來、地域住民の方々のご理解を得る努力を続け、ハワイ州政府およびハワイ郡当局のご要望を踏まえて進めてきた」とお答えになっていらっしゃいます。けれど、地元では計画当初から反対の声があがっていて、1993年の反対請願書には、住民の過半数が署名しているのです。さらに、1994年と96年の2回にわたって、地元住民代表が貴社本社を訪れて計画中止を求めています。いずれも会見を拒否されているということ、どうぞ思い出していただきたく存じます。なお、最近まで工事が凍結されていた理由は、住民から起された裁判と、グローバルアンタイゴルフムーブメントが開いた、国際 JAL ボイコット運動のためでした。このことも、この計画に反対している住民がたくさんいる証拠ではないでしょうか。

もちろん、問題は行政側にもあり、裁判では業者から担当役人に金品が渡された事実も、証拠として提出されています。実情を把握するために、公平な立場から監査できる方を貴社から派遣なさっていただけると、幸いに存じます。

この工事が始まってから、地元ハワイ人社会は工事を容認する側と反対する側に二分されており、従業員や反対派に対する脅迫もひどく、4月13日には反対派の家が放火

されて全焼する事件も起きています。関連会社で働く従業員は口止めされたうえ、週 250 - 300 ドルという最低賃金で働かされているのです。祖先が眠る墓を壊さなくてはならない現地ハワイ人労働者の気持ちに、JAL 幹部のみなさまはどうか少しでも思いを馳せていただきたく存じます。

現在、ハワイではこの開発について次々と裁判が起こり、現地業者の不正も次々に明らかになっています。いつまでも問題ある業者に資金提供を続けて、無益な争いを長引かせないでください。貴社の巨大な資金力がなければ、彼らは開発をあきらめるでしょう。

長くハワイ観光業を営んでこられた貴社では、ハワイの魅力をよくご存じだと思います。訪れる者を常に温かく迎えてくれるハワイの文化は、ハワイ先住民が培ってきました。彼らにとって、遺骨を動かすことは先祖の魂が大自然に戻れなくなり、子孫にとっても魂が失われてしまうことを意味します。こうしたハワイ先住民文化を踏みしめることは、ハワイの魅力を損なってしまいます。ゴルフ愛好者は、先住民の涙の上に建つゴルフ場で楽しいプレーができるでしょうか。また貴社にとっても、墓地を壊してゴルフリゾートを建設することは、長期間にわたって企業イメージを損なうことになるでしょう。

今回の開発において最大の投資家である貴社は、重大な責任ある立場におられます。このような開発に日本企業が関わっているのは、日本人として誠に恥ずかしく、ハワイの人たちに顔向けし難い思いがいたします。計画の見直しがされるまで、御社の利用については控えさせていただきたく存じます。

最後に、具体的な行動としてどのようなことを希望しているか、以下の項目にまとめました。一旦、施工を開始した計画の抜本の見直しは非常に困難かと存じますが、その必要性を充分認識いただき、是非ご検討くださいますよう、よろしく願い申し上げます。

- 1 . 即刻工事を中止しハワイ先住民が祖先の魂に対して正式な儀式を行えるようにする
- 2 . 遺骨を元の場所に戻す
- 3 . この土地を「ハワイ先住民歴史文化保護区 (Native Hawaiians' Historical & Cultural Sanctuary)」として寄贈し、ハワイ先住民がいつでも儀式や伝統的生活を続けられ、人類が大自然と共に生きる彼らの文化から学べる場とする

以上 末筆ながら貴社のより一層のご発展をお祈り申し上げます。

敬具

2001年 月 日

